

The page features a minimalist design with three decorative elements: a large blue circle with concentric rings in the top right, a smaller similar circle in the middle right, and a large blue circle with concentric rings in the bottom right. Two thin blue lines intersect to form a large 'V' shape that frames the central text.

# エコアクション21 環境活動レポート

42期 (2014.8～2015.7)

2016/01/12

金沢工業株式会社

# 目次

ページ数

- 1 組織概要
- 2 対象範囲
- 3 機械の処理能力
- 4 実施体制 リサイクルフロー図
- 5 環境理念、方針
- 6 環境目標
- 7 環境活動計画の内容
- 8 環境目標の実績
- 9 環境活動の取組み結果
- 10 環境関連法規への違反訴訟の有無
- 11 代表者による全体の評価と見直し

# 1 組織概要

## ①事業社名及び代表者名

金沢工業株式会社  
代表取締役 金沢知幸



## ②所在地

静岡県静岡市駿河区丸子6丁目1番5号

## ③法人設立年月日

昭和49年1月5日

## ④資本金

1000万円

## ⑤環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 松本俊

連絡先 TEL 054-259-3206  
FAX 054-259-1018

## ⑥事業活動の内容

鉄・非鉄金属スクラップ加工処理業、産業廃棄物収集運搬業・処分業

## ⑦処理料金

基本的に金属であれば有価になります。単価につきましては、種類、量によって変わりますので、お気軽にご相談ください。

## ⑧事業の規模

活動規模	単位	2012年	2013年	2014年
売上高	百万円	1205	1498	1242
従業員	人	18	18	19
敷地面積	m <sup>2</sup>	6000	6000	6000

## ⑨許認可

《産業廃棄物収集運搬》 静岡県 2201058851

26年度処理量 29.25t

許可品目 (廃プラ類、金属くず、木くず、ガラスくず、  
コンクリートくず、及び陶磁器くず)

許可年月日 平成26年2月24日 有効期限 平成31年2月23日

《産業廃棄物中間処分業》 許可番号 06221058851

26年度処理量 28.25t

許可品目 (廃プラ類、金属くず、木くず、ガラスくず、コンクリート  
くず、及び陶磁器くず)

許可年月日 平成27年5月24日 有効期限 平成31年5月23日

《破砕業許可証》 20624000304

許可年月日 平成26年10月21日 有効期限 平成31年10月20日

《解体業許可証》 第13220023号

許可年月日 平成26年5月1日 有効期限 平成31年4月30日

《金属くず商》 静岡県公安委員会 250号

《古物商》 静岡県公安委員会 2001号

《計量証明事業登録証》 379-2号

《廃棄物再生事業者登録》 廃再第79号

## ⑩加盟団体

社団法人日本鉄リサイクル工業会

静岡県中部鉄源会

静岡市再生資源組合

## 2 対象範囲

登録組織名

金沢工業株式会社 (全組織)

### 1) 機械仕様

(1) 名 称	ギロチンプレス 1250AK型
(2) 供給ボックス寸法	3,000w000×7,1×2,000h mm
(3) 切 断 回 数	約 2.5 回/min (無負荷作動時)
(1) 名 称	スクラッププレス 50pal 型
(2) 供給ボックス寸法	2,000w×5,000 l×1000h mm
(3) 成形品質量	約 430 kg (投入量により異なる)
(4) 機械理論値速度	約 200s/サイクル (無負荷作動時)

### 2) 重機仕様

(1) 重 機	SK210 2基	SK135 1基
	コベルコ	
	PC220 1基	336D 1基
	コマツ	キャタピラー
	ZAXIS200 1基	
	日立	

### 3) 中間処理施設 (圧縮)

処理能力 廃プラスチック類	39.2 t/日 (8時間)
木くず	33.2 t/日 (8時間)
金属くず	149.3 t/日 (8時間)
ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず	141.8 t/日 (8時間)

### 4) フォークリフト

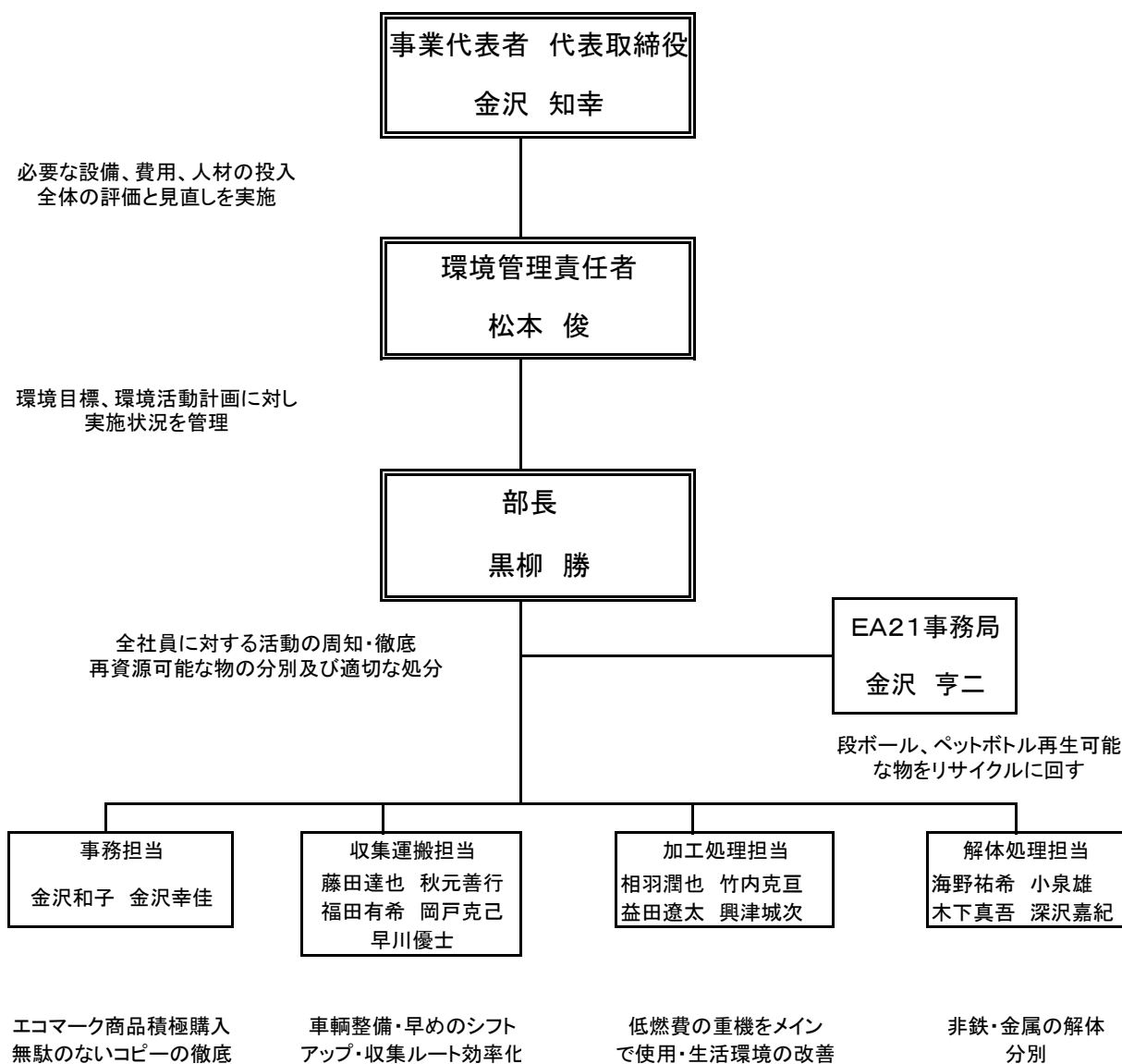
(1) フォークリフト	FD25	2.5 t	1台
	FD30	3.0 t	1台
	FD35 (回転リフト)	3.5 t	1台
	FD45 (回転リフト)	4.5 t	1台
	FD45	4.5 t	1台
	FD80	8.0 t	1台

### 5) トラック

(1) 中 型	4 t 車 平ボデー	HINO	1台
(2) 大 型	7 t 車 アームロール	HINO	2台
	6 t 車 ユニック	UD	2台
	8 t 車 深箱	HINO	1台
	10 t 車 深箱	HINO	3台
	10 t 車 ユニック	HINO UD	2台
	10 t 車 アームロール	UD	1台
	2 t 車 パワーゲート	HINO	1台

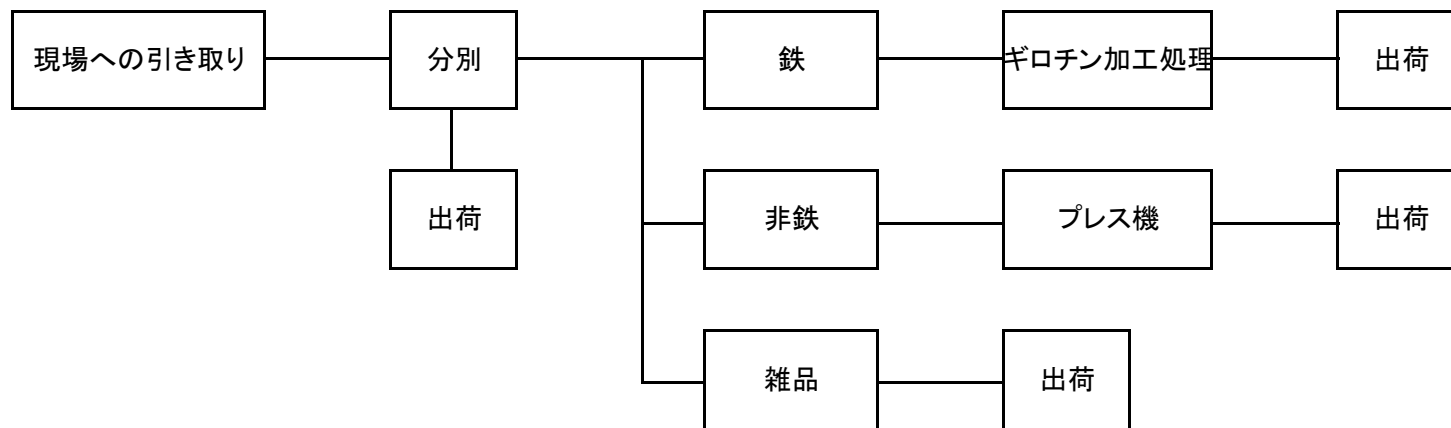
# 環境経営システム 実施体制

## 具体的な取り組み



EA21責任者は、構築、運用、実施、システム体制を確立し維持する。  
運用状況の全体を把握し、結果の報告。

## リサイクルフロー図



## 環境理念

私たちはリサイクル業を通じて地球環境を守る事が人類共通の大変重要な課題であると認識しております。限りある資源を有効活用する事により、資源循環型社会の構築を目指し、地球環境保全に努めてまいります。

## 環境方針

- 1 環境関連の法規制を遵守します。
- 2 地球環境保全に貢献するため、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減を目指し、環境汚染の防止に努めます。
- 3 地域社会の環境と調和を図り、地域住民から信頼される施設の運営・管理を徹底します。
- 4 この環境方針を全従業員に教育・訓練により周知徹底させ、この環境方針を社外にも公開します。
- 5 グリーン購入推進。

平成20年1月7日

金沢工業株式会社

代表取締役 金 沢 知 幸



# 環境目標

2013年度を基準として、2020年度末までに下記項目の数値6%削減を目標とします。

環境目標項目	基準値 2013年度	目標値		
		2014年度 1%の削減	2015年度 2%の削減	2020年度 6%の削減
二酸化炭素排出量の削減 kg-co2	645505	639038	632594	606774
電力消費量の削減 kwh	450067	445566	441065	423062
重油使用量の削減 ℓ	411190	407078	402966	386518
軽油使用量の削減 ℓ	122152	120930	119708	114822
廃棄物排出量の削減 t	298	295	292	280
水使用量の削減 m <sup>3</sup>	143	141	140	134
グリーン購入の推進	コピー用紙の再生紙の使用。 省エネ対策品の積極購入。 プレビュー確認し間違いのないコピーする。			
自らが生産、販売、提供する製品及びサービス	非鉄金属の分別を徹底的にし、より質の良い物をリサイクルに回します。			
化学物質、使用量の削減	対象外です。			

# 主要な環境活動計画の内容

項目		取組み内容(手段)
1 二酸化炭素削減	ギロチンシャー (電力)	適格な荷物投入！無駄のない運転を心懸け定期的にフィルター清掃。騒音、振動、粉塵の防止
	タワークレーン(電力)	旋回範囲を縮小し、無駄のない運転を心掛ける荷物の落下防止！安全作業！
	スクラッププレス(電力)	負荷運転をなくし、適格な荷物投入 フィルター定期的清掃
	天井クレーン(電力)	操作ミスのない運転をし、安全に作業を行う。
	事務所(電力)	電気の消し忘れ、古紙の分別再利用の強化 グリーン購入 エアコン温度管理の徹底
	重機(軽油、重油)	低回転での作業を行い燃料の低減に努める 騒音、振動の低減を行う 油使用管理
	フォークリフト(重油)	高回転での作業！注意 騒音を注意して作業を行う
	トラック(軽油)	低回転でのシフトup 燃費の良いトラックをなるべく稼働 アイドリングストップ、燃費向上 油使用管理 ラベル添付
2 産業廃棄物の削減	再資源可能な物の分別及適切な処分	産廃物から再利用可能な物を分別回収する 再資源可能な物はすべてリサイクル化
3 水使用の削減	スプリンクラーの散布	粉塵がまってしまう時使用。止め忘れに注意
	事務所、手洗い場の節水	節水のラベルを張り、環境にやさしい洗剤を使用 節水器具の導入
4 紙使用の削減	コピー紙使用の削減	無駄のないコピーや両面コピーを徹底する サイズミスのないコピーをする
	廃棄する紙の削減	使用済みの紙はメモ用紙として活用しリサイクル可能な紙を分別
5 グリーン購入	グリーン購入推進	エコマーク製品等の環境配慮製品を積極購入する
6 自らが生産提供する製品	鉄屑の品質	持ちこまれた鉄や非鉄金属の分別を加工や解体にひと手間かける事で製品の品質の向上と付加価値の向上につなげる
7 生活環境の改善	粉塵の飛散防止	スプリンクラーの使用 清掃機で舗装面を清掃し、竹ぼうきなどで、清掃
	振動、騒音	6時以降の機械運転は控え、作業を慎重にやりこなす。 ダンプアップ音防止作業
	廃油汚水の流出	油が流出した時吸着マットや木屑などまき、対応 油水分離槽のチェック
	火災爆発事故防止	消火器の点検、各箇所把握 防火用水設置 危険物混入の確認
8 その他推進事項	全社員に対する環境保全活動の指示	5S活動を強化し、定期的に社員全体で環境安全面のことを話し合い修正する。意識向上 振動、騒音の低減に努め、地域住民から苦情のないように、努める。

# 環境目標の実績

2013年度を基準とし、2014年度は1%削減としました。

項目	基準値	目標(1%)	実績
	2013年度	2014年度	2014年度
軽油 ℓ	122152	120930	126968
重油 ℓ	411190	407078	30255
電力 kwh	450067	445566	461590
廃棄物排出量	298	295	156
水 m <sup>3</sup>	143	141	104

二酸化炭素排出量合計 (kg-co2)

項目	基準値	目標(1%)	実績
	2013年度	2014年度	2014年度
軽油 kgco2	320568	317362	333207
重油 kgco2	111606	110489	81979
電力 kgco2	213331	211187	218793
合計(kg-co2)	645505	639038	633979
全体	0%	1%down	1.8%down

エコアクション21活動初年度→10年後  
基準値2004年度

項目	基準値	実績
	2004年度	2014年度
軽油 kgco2	50510	126968
重油 kgco2	35892	30255
電力 kgco2	283314	461590
廃棄物排出量	141	156
水 m <sup>3</sup>	285	104

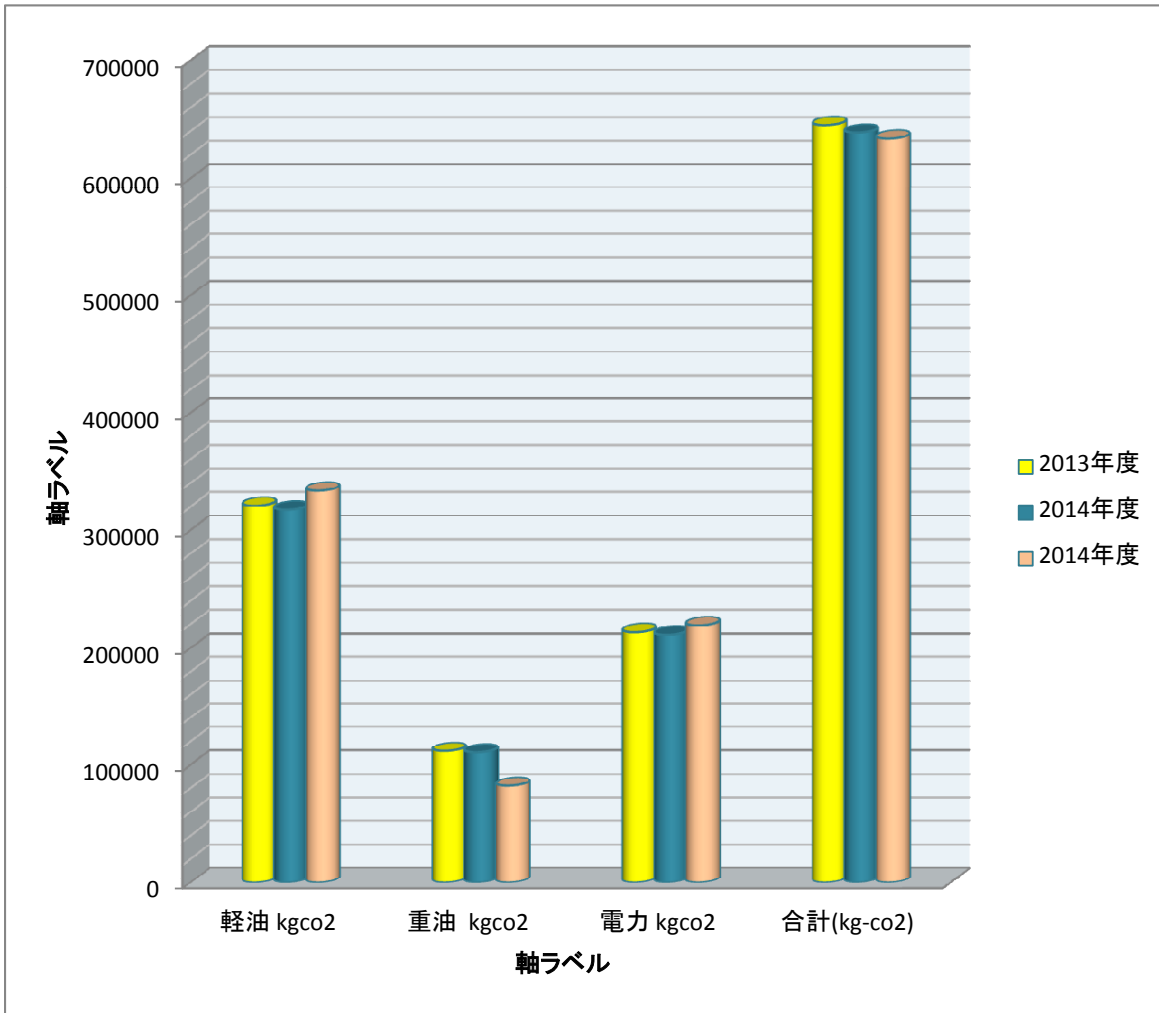
二酸化炭素排出量合計 (kg-co2)

項目	基準値	実績
	2004年度	2014年度
軽油	132555	333207
重油	97254	81979
電力	134290	218793
合計	364099	633979
全体	0%	74%up

※2004年度 対比

大型トラック5台、重機2台、大型プレス機1台増設した為、軽油電力upする結果となりました。

二酸化炭素排出係数は 2004年度 0.378kg-co2/kwh  
2013年度 2014年度 0.474kg-co2/kwh



# 環境活動の取組結果の評価

評価 取組結果

次年度の取組内容

電力	×	扱ひ量が多いた不可運転や、荷物投入加減を把握しきれてない部分が無駄にあった。	出来るだけ、稼働時間を減らし、適格な荷物投入加減を把握し、低減に努める。
重油	○	メインで使用する重機が重油から軽油に変わり、重油で稼働する重機がすくなくなった。	逆に軽油の数値が倍増してしまったので、重油の機械も使用することにより、バランスを保つことに心掛ける。
軽油	×	増車や重機の稼働率が増え、扱ひ量が増えた為、燃料は増したが、燃費は決して悪くない。	エコドライブの強化徹底し、さらなる効率化。 重機の使用も今後の課題となる。
産廃	○	重機で分別を強化徹底し、細かい作業は手作業で分別増員、再生資源可能な物はすべてリサイクル化。	現状維持を保ち更なる分別。
水	○	スプリンクラー使用する時こまめに散布していた。 遠隔操作での使用。	使用量だけを把握し、現状維持、さらなる節水に、心掛ける。 雨水などを利用することに強化。
グリーン購入	○	エコマーク製品等の積極購入。両面コピーを使用し、再生可能な紙をリサイクルにし、メモ用紙としても活用。	再生紙などを購入し、リサイクル可能な物を分別し、さらなる徹底。ミスのないコピー、メモ用紙も活用
自らが生産する	○	非鉄金属の分別の強化。 高品質のリサイクル化。	分別、こぼらし、解体によって再資源可能な物を、すべてリサイクルに回す。高品質を目指す。
生活環境	○	5S活動の強化、振動、騒音の低減。 清掃機での清掃。	社員一人一人の意識を向上させ、機械での作業時、意識しながら作業

※評価の○×の基準は目標の達成度である。

## 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

見直し(制定、改廃、遵守状況)の担当者:松本俊

法令名称	目的、概要等	適用を受ける設備、行為等	遵守状況
環境基本法	一般的な自主努力		○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置、自治体施策へ協力		○
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業許可(市、県) マニフェスト交付等状況報告書提出	産業廃棄物収集運搬及び排出	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力		○
資源有効利用促進法	リサイクル等への協力	パソコン、ビン、ダンボール、ペットボトルの廃棄	○
家電リサイクル法	指定所への廃棄	エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機の廃棄	○
自動車リサイクル法	自動車破砕業許可	自動車破砕	○
浄化槽法	浄化槽の管理、清掃	浄化槽一基	○
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者は一般的責務	○

条例など	目的 概要等		
静岡県生活環境保全条例	油水分離層の設置	油の流出	○
	環境部環境保全課届出受理	ギロチンシャー、鋳物割プレスの騒音、振動	○
静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	適正な処理	年に1回産業廃棄物の処分の状況を確認チェックの保	○

環境関連法規の遵守状況は、毎年8月にチェックリストで確認し、結果は上記の通りである。  
違反はありません。また、関係機関から特にご指摘も無く、又、訴訟も1件もありません。

## 代表者による全体の評価と見直し

今年度は、CO<sub>2</sub>削減達成することが出来ました。それも近年のうちに、増車や引取り数の増加、重機、電力、機器の運転負荷の発生、扱い量に影響されることが一番の原因だと考えられ、今回環境目標数値を設定し見直しすることによって今後数値を上昇させない未然に防ぐ活動、設定することに決めました。

今後、環境という観点から実施出来ることは、これからも細かく追及し、実施していく予定である。それに従って現場で見つける環境負荷などを改善提案を積極的に取り入れて少しでも環境負荷のない会社を目指したいと思います。

これからは、日々の活動を意識し、継続することが、資源も経費も削減され、良い結果を出せるような一年にしたいと願います。

今後も、PDCAサイクルという基本をしっかりと維持し、目標設定の向上と見直し、妥当性の有る有効な展開に努力します。  
来年度も社員全員の意識向上を図り、目標達成に努めていきたいと思ひます。

作成日 平成27年11月1日

**金沢工業株式会社**

**代表取締役 金沢知幸**